

協働評価シート

事業名		若者Produce！ 魅力chで あなたの新居浜を伝えよう！	実施年度	平成25年度
部 局		企画部	課 所	秘書広報課
団体等の名称		Team浜ちょボ実行委員会		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	A
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。（新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価）	団体等	A
			市	A
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	A
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>「市内外への新居浜市の魅力発信」という目的のもとに活動を行った。取材等の活動を通して、有名なものから隠れた魅力まで様々な魅力について理解を深め、新たな魅力を発掘した。そして、秘書広報課が有する「情報力」、「情報発信力」と、若者独自の「魅力への視点」、「柔軟な発想」という浜ちよボの強みがコラボすることにより、誰でも楽しんでもらえる動画を制作し、市内外の人達に魅力を発信することができた。また、事業を通して「大好きな新居浜市の為に、若者でも出来ることがある」という若者達の自信になり、今後の活動意欲にも繋がった。</p> <p>◎具体的な改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算計画について、提案書提出前にどのようなものに費用が使えるか等、詳しく相談や説明を受ける機会が必要であった。 ・今後の展開の為に、動画を見た人に対して何かしろの意見を募るべきであった。
<p>市</p>	<p>若者の視点での広報番組の制作・放映により、新居浜市の新たな魅力やあまり知られていない魅力を広く情報発信することができた。その結果、広報チャンネルの視聴率向上や若者の郷土愛の育成につながった。また、YouTubeにおいても多数の人に視聴され、市の広報につなげることができた。</p>
<p>相互協議 結 果</p>	<p>今回の協働事業では「相乗効果」が十分に発揮され、効果的な事業推進ができた。また、「番組を見たよ。」と声を掛けられることもあり、市民の関心や参画意欲を引き出す事業が展開された。</p>